

2022年3月期

(2021年度)

第1四半期

決算概要

2021年8月3日

リコーリース株式会社

1. 2022年3月期 第1四半期 連結業績報告
2. セグメント別の状況
3. 2022年3月期 連結業績予想
4. 参考資料

1 . 2022年3月期 第1四半期
連結業績報告

1. 減収増益

資産利回りの改善が継続し、レンタル事業も伸長、過去最高益を更新

2. 営業資産 9,703億円（前期末比+17億円）

取扱高・事業投資額の拡大により、営業資産は増加

3. 2022年3月期 業績予想は、期初予想から変更なし

営業利益予想185億円に向けて順調な進捗

※リース債権流動化を控除しない営業資産は10,411億円（前期末比+16億円）

※当資料では、「親会社株主に帰属する四半期純利益」及び「親会社株主に帰属する当期純利益」を、それぞれ「四半期純利益」及び「当期純利益」と表記

- 前年の大口債権の早期返済による反動減、リース債権流動化等により、売上高は減少
- 営業資産利回りの改善等により売上総利益が増加、貸倒費用が対前年比減少し営業利益は大きく伸長

単位：億円

	2021/3期 1Q実績	2022/3期		2022/3期 通期予想	進捗率
		1Q実績	伸率		
売上高	912	759	△16.7%	3,117	24.4%
売上総利益	93	100	7.7%	398	25.2%
販売費及び一般管理費	61	44	△27.9%	213	20.8%
貸倒引当金繰入額	20	△0	—	21	—
営業利益	31	56	76.5%	185	30.3%
経常利益	31	55	75.7%	183	30.1%
当期純利益	21	38	76.2%	126	30.3%
			前年差		
1株当たり配当金（円）	—	—	—	115.00	—
1株当たり純利益（円）	70.26	123.76	53.51	408.76	—
配当性向	—	—	—	28.1%	—
ROA（総資産当期純利益率）	0.74%	1.30%	0.56%	1.06%	—
ROE（自己資本利益率）	4.8%	7.9%	3.2%	6.4%	—

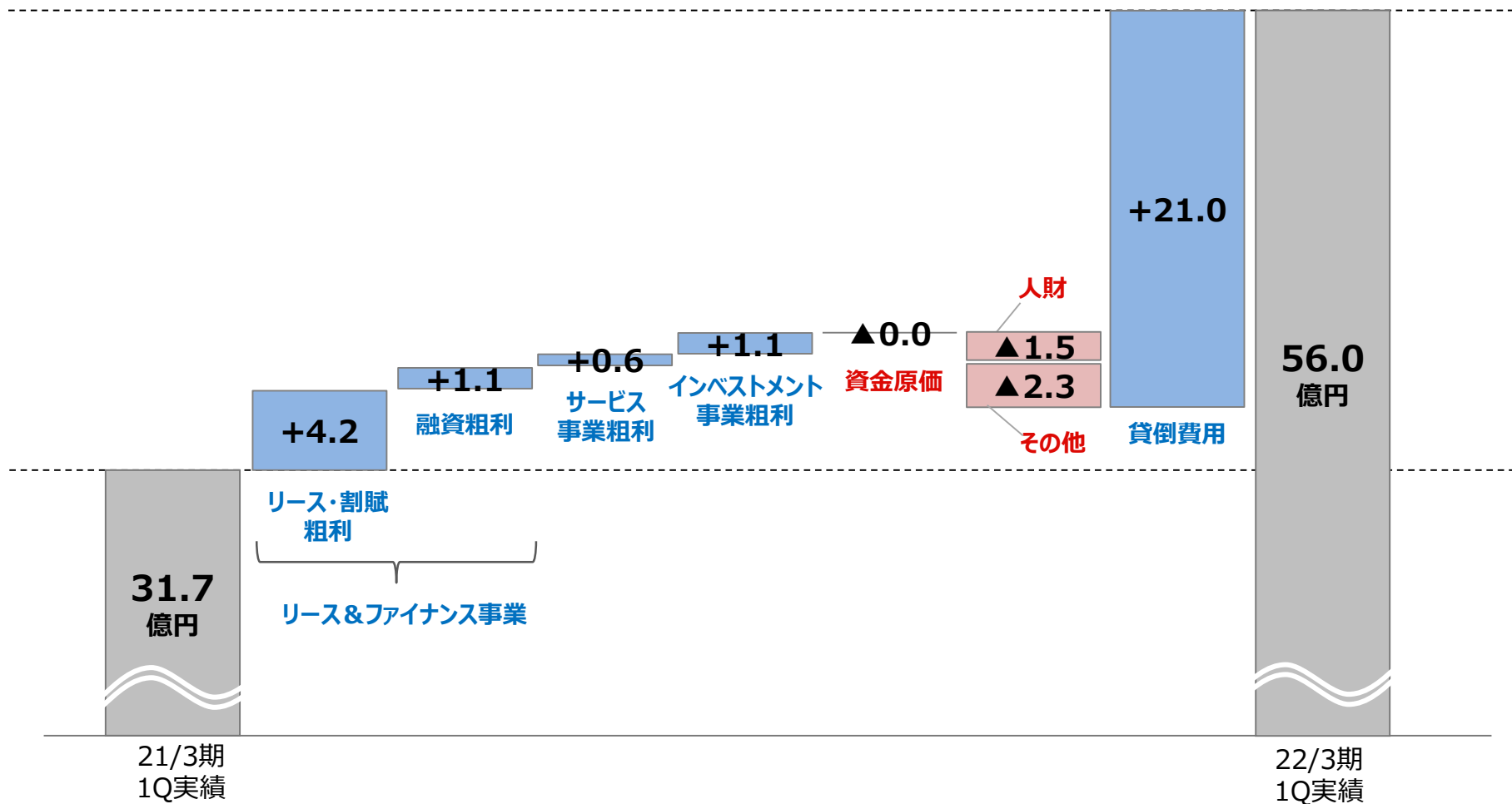
※ROA及びROEの実績は、年換算した数値を記載

営業利益の前年比増減要因

売上総利益

販売費及び一般管理費

単位：億円



連結貸借対照表

- 現金及び預金残高の増加により、総資産は前期末に比べ増加

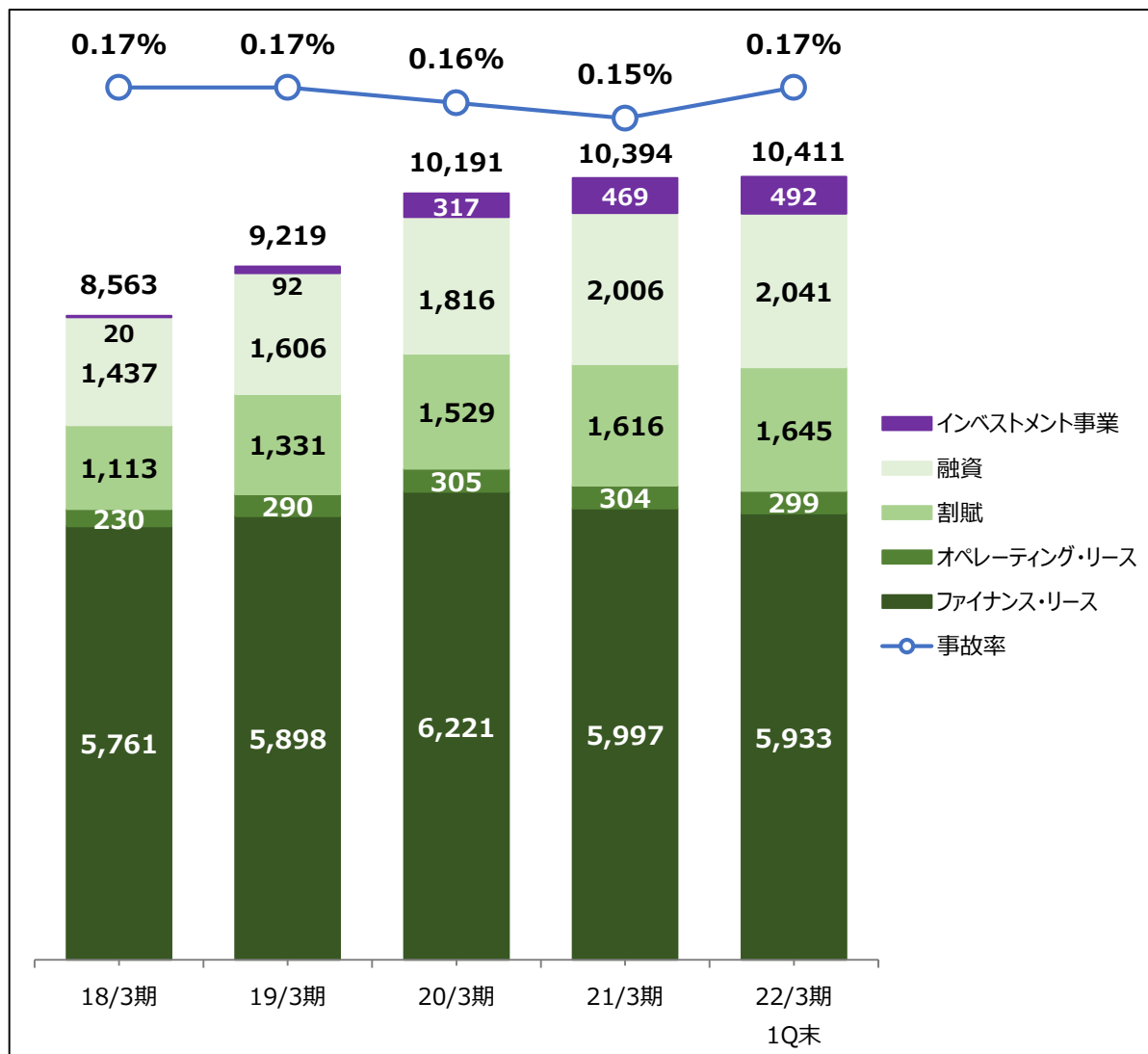
単位：億円

	2021/3期	2022/3期	
	期末	1Q末	前期末増減
現金及び預金	110	353	243
リース債権及びリース投資資産	5,289	5,225	△63
割賦債権	1,829	1,863	34
営業貸付金	2,006	2,041	35
賃貸資産	543	549	6
貸倒引当金	△118	△ 113	5
その他資産	1,947	2,020	73
資産 合計	11,607	11,940	333

	2021/3期	2022/3期	
	期末	1Q末	前期末増減
短期有利子負債	2,254	1,729	△525
長期有利子負債	5,900	6,765	865
債権流動化債務	400	400	0
その他負債	1,139	1,107	△31
負債 合計	9,693	10,002	308
純資産 合計	1,913	1,937	24
負債純資産 合計	11,607	11,940	333

※貸倒引当金は、流動資産及び固定資産の合計を記載
 ※1年以内返済予定の長期債務は、短期有利子負債に含む

単位：億円



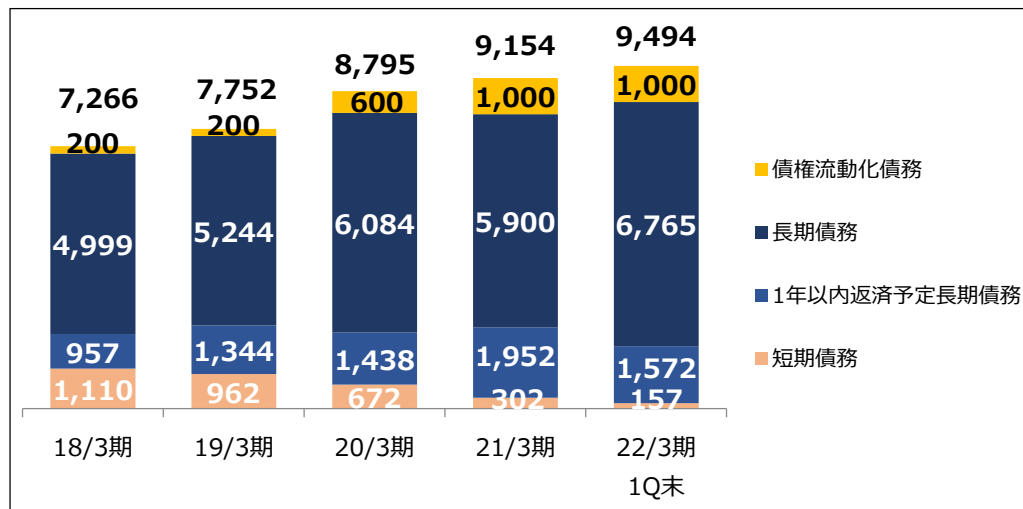
- 融資等の積上げにより、流動化控除前の営業資産は前期末から16億円増加
- 事故損失額は増加するも、事故率は低位で推移

※営業資産はリース債権流動化を控除しない残高を表示
(22/3期1Q流動化金額：707億円)

※事故率 = 事故損失額 ÷ 営業資産平均残高
(22/3期1Qは、事故損失額を年換算して事故率を算出)

調達総額

単位：億円

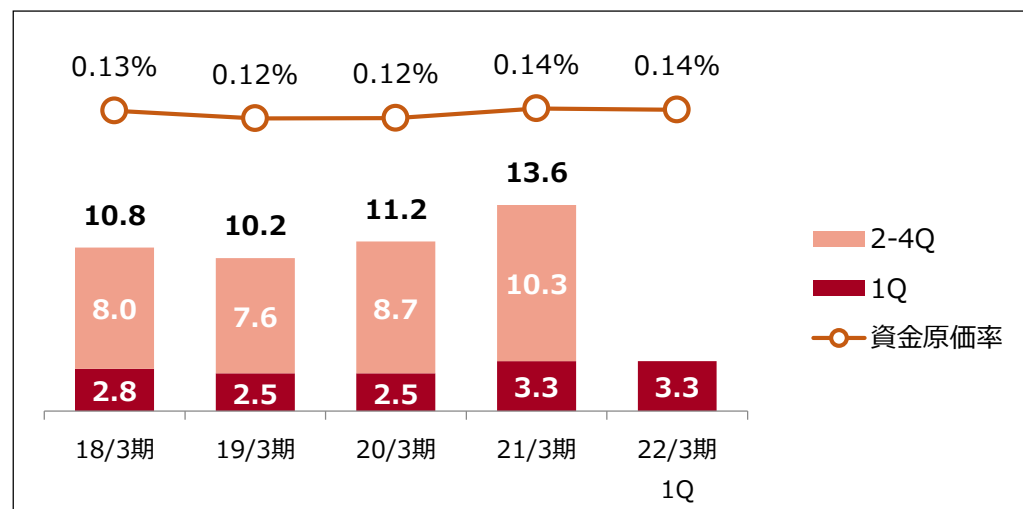


- 一度の調達額としては過去最大の600億円の社債を発行

※債権流動化債務は、オフバランス調達を含む残高を表示

資金原価・資金原価率

単位：億円



- 資金原価、資金原価率ともに横這い

※資金原価率 = 資金原価 ÷ 営業資産平均残高

※22/3期1Qは、資金原価を年換算して資金原価率を算出

2. セグメント別の状況

- リース&ファイナンス事業は、前年の大口債権の早期返済による反動減等により減収。貸倒費用の減少により増益
- サービス事業は、集金代行サービスが引き続き堅調に推移。当第1四半期よりエンプラスの業績を連結業績に反映
- インベストメント事業は、太陽光発電が牽引し、増収増益

■ 売上高及び損益

単位：億円

	2021/3期 1Q実績	2022/3期	
		1Q実績	伸率
リース&ファイナンス事業			
売上高	893	734	△17.8%
セグメント利益	31	55	79.1%
サービス事業			
売上高	13	16	21.4%
セグメント利益	3	3	△8.3%
インベストメント事業			
売上高	5	9	72.0%
セグメント利益	1	1	41.6%

■ 営業資産

単位：億円

	2021/3期 期末	2022/3期	
		1Q末	前期末増減
リース&ファイナンス事業	9,925	9,919	△5
インベストメント事業	469	492	22

※リース債権流動化を控除しない残高を表示

- コロナ禍以前の営業実績には戻っていないが、融資を中心に取扱高は回復傾向
- 新規契約獲得利回りは、引き続き改善を継続

■ 取扱高（商品別）

単位：億円

	2021/3期	2022/3期	
	1Q実績	1Q実績	伸率
ファイナンス・リース	573	596	4.0%
オペレーティング・リース	48	44	△8.2%
リース計	622	641	3.1%
割賦	141	148	4.8%
リース・割賦 合計	764	790	3.4%
融資	71	97	35.9%
リース&ファイナンス事業 取扱高 合計	836	887	6.2%

■ リース・割賦 取扱高（機種別）

単位：億円

	2021/3期	2022/3期	
	1Q実績	1Q実績	伸率
事務用・情報関連機器	407	407	△0.0%
医療機器	82	92	11.3%
産業工作機械	56	72	29.4%
商業・サービス業用機器	76	37	△51.6%
車両・輸送用機器	51	54	4.5%
その他	89	126	42.0%
リース・割賦 取扱高 合計	764	790	3.4%

リース事業協会
(4月-6月累計)
伸率

△6.7%
△4.6%
△13.0%
△9.1%
3.9%
△15.0%
△7.0%

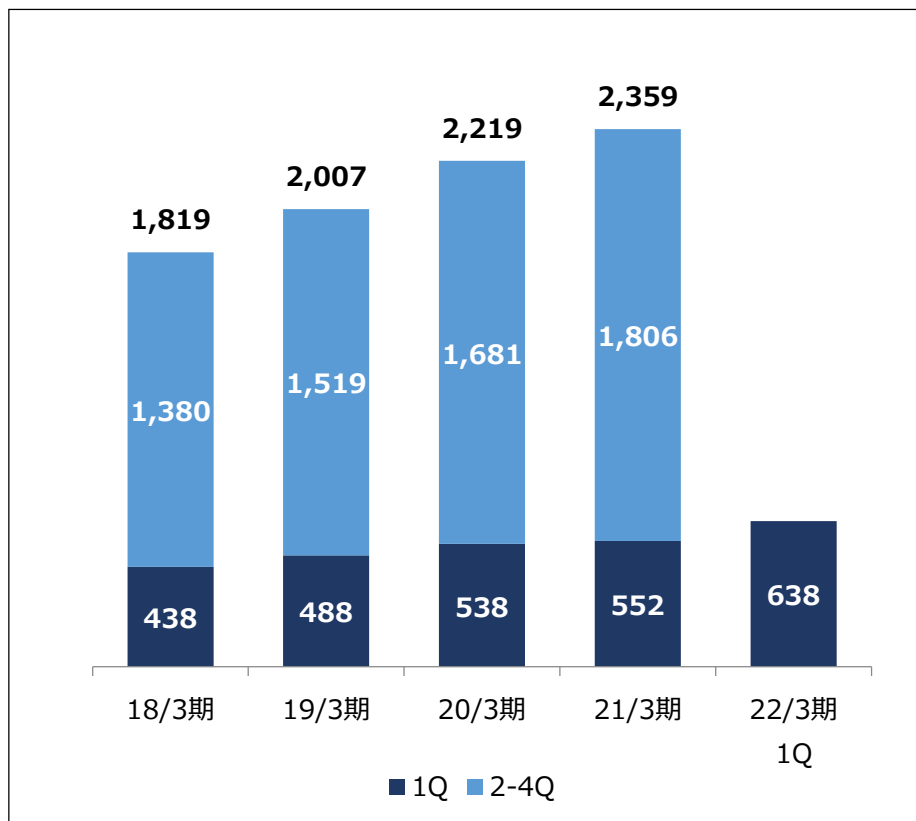
環境関連	41	88	112.1%
------	----	----	--------

※環境関連は、上記取扱高の内数

- 集金代行サービス取扱件数は2桁成長に回復。非接触のニーズから、新規成約件数はコロナ禍以前を上回る
- 医療・介護ファクタリングは、公的支援等の充実による解約申請が発生し、取扱高が減少

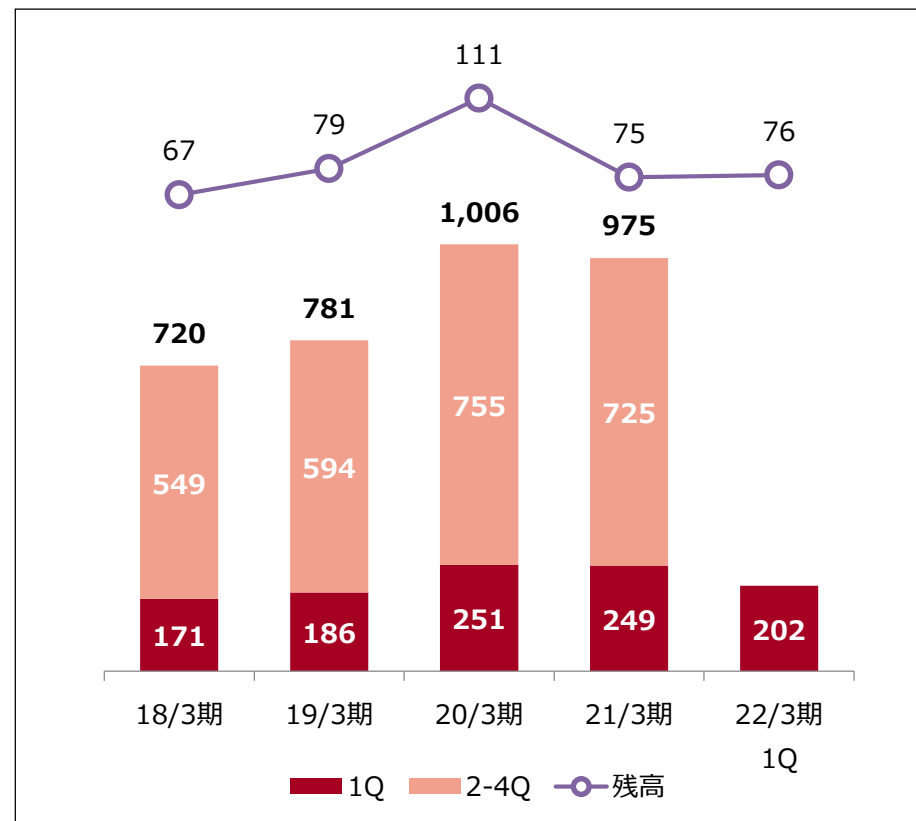
■ 集金代行サービス取扱件数

単位：万件



■ 医療・介護ファクタリング取扱高

単位：億円



- 太陽光発電は、セカンダリー案件等への投資実行により、計画通りの進捗
- 住宅賃貸・不動産関連は、市況を鑑み慎重なスタンスにより投資を実行

■ 事業投資額

単位：億円

	2021/3期 1Q実績	2022/3期	
		1Q実績	伸率
太陽光発電	18	65	252.2%
住宅賃貸・不動産関連	7	17	146.6%
インベストメント事業投資額 合計	25	83	222.7%

■ 営業資産

単位：億円

	2021/3期 期末	2022/3期	
		1Q末	前期末増減
太陽光発電	166	176	9
住宅賃貸・不動産関連	302	315	12
インベストメント事業 営業資産 合計	469	492	22



3. 2022年3月期 連結業績予想

- リース債権流動化等により減収。インベストメント事業の伸長と手数料収益増加により2期連続の増益予想
- 1株当たり配当金（年間）は115円と27期連続増配、配当性向は28.1%を予想

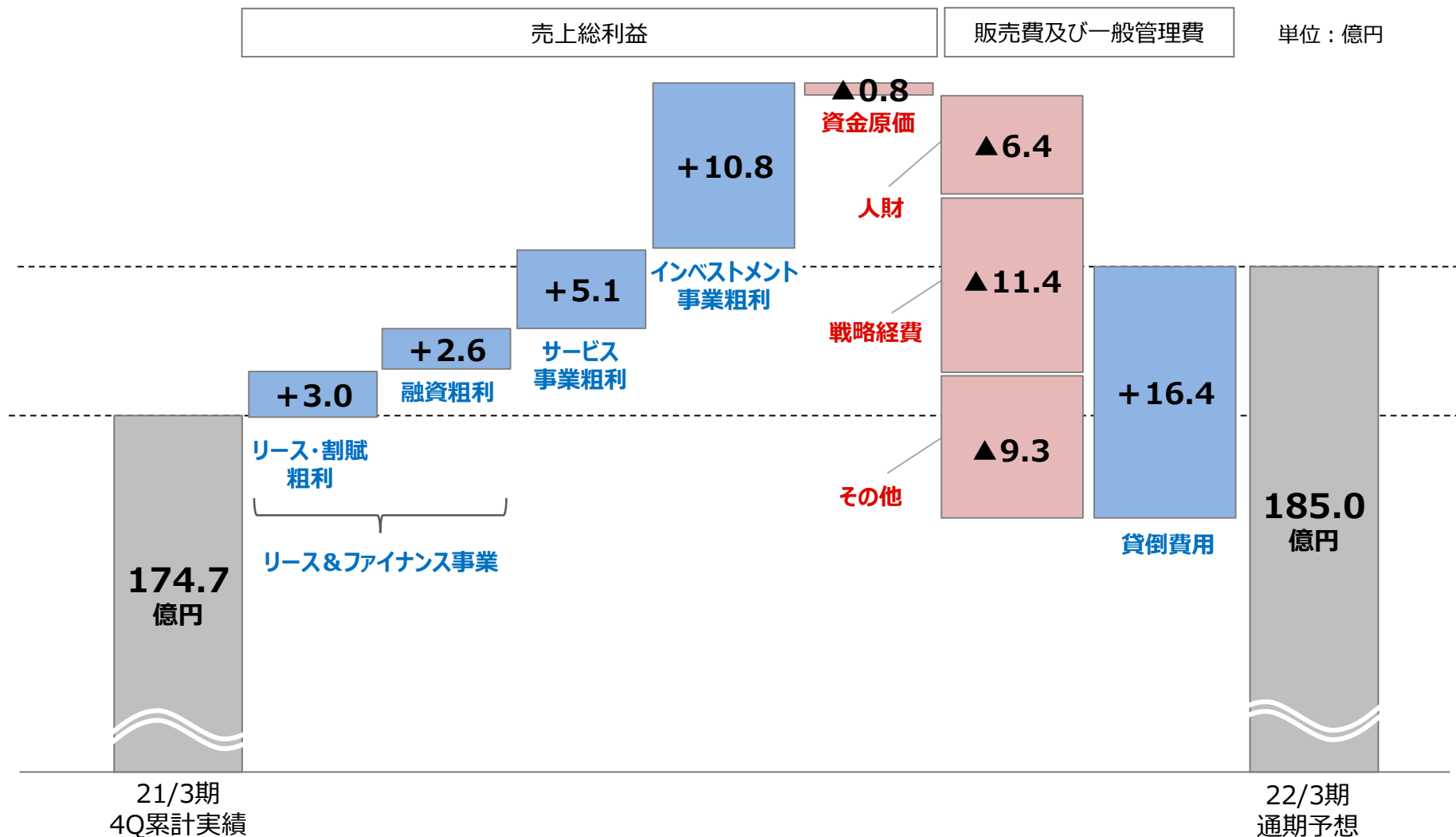
単位：億円

	2021/3期		2022/3期	
	通期実績	伸率	通期予想	伸率
売上高	3,262	△1.8%	3,117	△4.5%
売上総利益	377	7.2%	398	5.6%
販売費及び一般管理費	202	11.4%	213	5.3%
貸倒引当金繰入額	37	30.1%	21	△44.0%
営業利益	174	2.7%	185	5.9%
経常利益	175	2.5%	183	4.5%
当期純利益	120	1.6%	126	4.8%
		前年差		前年差
1株当たり配当金（円）	100.00	10.00	115.00	15.00
1株当たり純利益（円）	389.93	7.13	408.76	18.83
配当性向	25.6%	2.1%	28.1%	2.5%
ROA（総資産当期純利益率）	1.04%	△0.04%	1.06%	0.02%
ROE（自己資本利益率）	6.4%	△0.2%	6.4%	△0.0%

※連続増配は、2000年3月期の株式分割による実質増配を含む

営業利益の前年比増減要因 予想

- 全セグメントにおいて売上総利益は増益計画
- 事業基盤（人的リソース、ITインフラ）強化の投資を継続。貸倒費用は対前年比減少



- 取扱高の回復により、営業資産は935億円の増加を予想
- リース&ファイナンス事業は融資を中心に、インベストメント事業は住宅賃貸・不動産関連を中心に増加を見込む

単位：億円

	2021/3期		2022/3期	
	期末	前年増減	期末予想	前年増減
ファイナンス・リース	5,997	△224	6,110	112
オペレーティング・リース	304	△1	310	5
リース計	6,301	△226	6,420	118
割賦	1,616	87	1,650	33
リース・割賦 合計	7,918	△138	8,070	151
融資	2,006	189	2,280	273
リース&ファイナンス事業	9,925	51	10,350	424
インベストメント事業	469	152	980	510
営業資産 合計	10,394	203	11,330	935

※リース債権流動化を控除しない残高を表示

4. 參考資料

単位：億円

	2021/3期		2022/3期		2022/3期	
	1Q実績	伸率	1Q実績	伸率	通期予想	伸率
売上高	912	11.2%	759	△16.7%	3,117	△4.5%
リース料収入	613	3.8%	577	△5.9%	2,270	△3.3%
割賦売上高	124	△3.7%	79	△36.3%	445	0.5%
営業貸付収益	8	17.4%	9	12.6%	42	13.7%
受取手数料	14	△1.1%	17	22.0%	65	3.1%
その他の売上高	151	94.8%	75	△49.7%	295	△20.8%
売上原価	819	11.7%	659	△19.5%	2,719	△5.8%
リース料原価	554	3.7%	514	△7.1%	-	-
割賦原価	116	△4.3%	71	△38.7%	-	-
資金原価	3	28.1%	3	0.6%	-	-
その他の売上原価	144	94.6%	69	△51.9%	-	-
売上総利益	93	7.6%	100	7.7%	398	5.6%
販売費及び一般管理費	61	49.8%	44	△27.9%	213	5.3%
営業利益	31	△30.3%	56	76.5%	185	5.9%
経常利益	31	△32.1%	55	75.7%	183	4.5%
当期純利益	21	△32.2%	38	76.2%	126	4.8%

本資料の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。

<お問い合わせ先>

リコーリース 株式会社

RICOH LEASING COMPANY, LTD.

経営企画部

Tel : 03-6204-0608
Email : ir@rle.ricoh.co.jp
URL : <https://www.r-lease.co.jp>